

【プログラム12：プラスの表現

～認め・ほめ・励まし・伸ばそう～】

☆ねらい：いつもと違う方向から物事を考えたり見たりすることを通して、多様性に対する開かれた考えをもって子どもとの関わりを考えようとする気持ちを高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	多様な見方・考え方
時 間	20分
人 数	何人でもできる。
活動形態	全体＋グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	ワークシート
主な活動	①逆転の発想を知る。 ②プラスの表現を知り、それを使って子どもを紹介をする。 ③感想を出し合う。
気を付けること	○逆転の発想やプラスの表現を知ること、多様な見方や考え方があるということを知らせる。
備 考 (アレンジ等)	○逆転の発想やプラスの表現の例を進行役がいくつか用意しておき、その時の状況に応じて柔軟に対応するようにする。
他プログラムとの関連	スマイル（小学生期）編：No13 あなたはどう考えますか？～1枚の絵から広がるイメージ～

【プログラム12：プラスの表現～認め・ほめ・励まし・伸ばそう～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	1. ねらいを確認する。 【1分】 [キーワード] ○多様な見方・考え方
17分	グループ	ワークシート使用 2. 長所と短所について考える。 【15分】 (1) 「あなたなら、何と言う？」をする。〈5分〉
	全体	(2) 逆転の発想を知らせる。〈3分〉 「気が強い」→「自分の考えをもっている」 「わがまま」→「自分の意見を通しぬく」 「言い方（言葉）がきつい」→「はっきり言う、正直に言う」
	全体	(3) プラスの表現を知り、それを使って子どもを紹介する。〈7分〉 ○プラスの表現を知る。 ○プラスの表現を使って子どもを紹介する。
	全体	3. 感想や印象に残った意見を他のグループにも紹介する。 【2分】
2分	全体	4. まとめ 【2分】 誰にでも長所や短所がある。短所を、この人は◆◆だと決めつけるのではなく、逆転の発想でとらえたり、プラスの表現で考えたりすることも時には必要である。 逆転の発想やプラスの表現など、多様な見方、考え方があることを知り、自分に取り入れていこうとすることは、自分・子ども・他の人の大切さを認めていくことにつながる。それは、自分の他の人たちとの豊かな関係づくりの土台となるだろう。

【プラスの表現～認め・ほめ・励まし・伸ばそう～：ワークシート】

1 あなたなら、何と言う？

◆あるお母さんが、娘の性格等のことで悩んでいます。



○うちの娘、気が強いうえにわがまま。そして、最近、言い方（言葉）もきつくなってきたのよ。子どもの「いい所を伸ばしましょう」ってよく聞くけど、短所というか気になることの方がいっぱい目について……。どうしたらいいかしら……。

☆話を聞いたあなたは、そのお母さんに何と言うと思いますか？

2 プラスの表現を使ってみよう。

「プラスの表現」とは

……肯定的な言い方、優しい感じのする言い方のこと

例

○うるさい → にぎやか、() ()

○おせっかい → お世話好き、() ()

○落ち着きがない → 元気がいい、() ()

○いじわるをしない → やさしくしましょう、()

◆プラス表現を使って、子どもを紹介しよう。

例 名前が、「親野 学」(おやの まなぶ)さんの場合



① おもしろいことが好きな「おやの まなぶ」です。

② まわりの人にもやさしい「おやの まなぶ」です。

☆子どものことを、どう紹介しますか？ (いくつか考えてみましょう。)